

【纏向遺跡周辺地区まちづくり基本構想のための柱】

【別 紙】 6. 2 3

柱（整備及び調整）		理 由	視 点	主担当課	関係課
1. 地域の核となる施設などの設置等（センターエリア）		・まちづくりの中核（起爆剤）としてセンターエリアの環境整備の一環	・史跡纏向遺跡交流館（仮称）基本計画（以下「基本計画」）参照 ・コンサルによる類似施設運営に係り、地域や民間の力を活用した手法の調査と提案、又、その可能性と効果		
史跡纏向遺跡交流館（仮称）（外構計画含）	・基本設計、実施設計				
史跡公園					
2.JR 巻向駅前広場の整備		・センターエリア及び各サテライトを含む発掘された纏向遺跡の主要な調査箇所（23 か所）へのアクセスの起点整備 ・来訪者の利便向上や地域のまちづくりへの貢献のため、駅前の環境整備を行い、遺跡の玄関口に相応しい景観を整備	・史跡纏向遺跡・史跡纏向古墳群保存活用計画書（以下「保存活用計画書」）及び「基本計画」参照 ・コンサルによる類似のレンタル自転車や駅前活性化等の手法調査と提案、又、その可能性と効果		
ロータリー 駐車場 屋根付待合所 駐輪場 レンタル自転車施設	・レンタル自転車等				
3.各サテライト（1～9）を含む発掘された纏向遺跡の主要な調査箇所（23 か所）の整備		・個々の史跡指定地、史跡指定予定地及び発掘された纏向遺跡の主要な調査箇所の整備を行い、総合的（面的）に理解できるようにする	・「保存活用計画書」参照 ・便所、休憩所の設置については、近隣地を想定。類似施設について、コンサルによる調査と提案、又、その効果		
説明用ミニ広場 駐輪場 休憩所 便所 駐車場	・概要説明版設置 ・AR や VR の先端技術を使用した詳細説明				

柱（整備及び調整）		理 由	視 点	主担当課	関係課
4.回遊ルートの設定					
道路（進入路を含む） の整備	・案内標識（サイン 整備）設置 ・交通安全対策	・センターエリアと各サテライトを含む発掘 された纏向遺跡の主要な調査箇所（23 か所）をつなぐルートを整備し、スムーズ な移動を確保	・「基本計画」及び「保存活 用計画書」参照 ・回遊のための移動につい ては、センターエリア付近 から、徒歩及び自転車を想 定		
5.駐車場の確保及び整備の方向性					
隣接地にメイン駐車 場の設置及び道路の 拡幅	・案内標識（サイン 整備）設置 ・交通安全対策	・交流館利用者及び各サテライトを含む発 掘された纏向遺跡の主要な調査箇所（23 か所）の回遊者のため、センターエリア周 辺に駐車場が必要であり、同時に道路の 拡幅が必須 ・具体的に、大型バス等の進入用メインア プローチ（センターエリアゾーン北側及び 南側）の整備及び駐車場の確保を目指す	・「保存活用計画書」参照 ・駅及びセンターエリア周 辺を想定		

【纏向遺跡周辺地区まちづくり基本構想のための柱】

【別 紙】 6. 2 3

柱（整備及び調整）		理 由	視 点	主担当課	関係課
6. その他					
エリアプロモーション		・地域住民の意見を尊重した、地域の資源である史跡纏向遺跡を最大限に活用した、纏向地域の魅力を発信する	・住民意向調査 ・コンサルによる類似団体の調査と提案、更にその効果 ・市内外から巻向を訪れる方へのアクセス方法、特に主要駅（桜井駅）からの移動方法についての現状と将来像		
JR 巻向駅駅舎及びホームの改修	・JR 西日本側との調整	・遺跡の玄関口に相応しい駅の景観を整備 ・また、駅構内進入へのための安全対策を確保	・コンサルによる類似団体の事業手法の調査と提案、又、その可能性と効果 ・参画意向調査		
管理運営等協力体制整備		史跡纏向遺跡を活かした地域のまちづくり推進のための体制づくり			
①纏向遺跡保存管理・整備活用計画策定委員会との連携		①遺跡の整備や保存管理を担う有識者との連携	①「保存活用計画書」参照		
②纏向地域関係区長（協議会等）との連携・調整		②センターエリア内の交流館及び関連施設の管理運営整備に、住民が参画する体制作り	②「保存活用計画書」参照 ・住民意向調査		
③今後に向けた新たな産官学民労言との連携		③現在、大学や調査機関などの外部機関や研究者と共同で調査研究を実施してい	③コンサルによる類似団体の事業手法の調査と提案、		

柱（整備及び調整）	理 由	視 点	主担当課	関係課
	る。そしてその成果は、講演会や刊行物により、広く情報発信を行っており、その一部は、新聞社や出版社の協力を得ている また、近隣市町とも連携し、イベントを開催し、普及啓発に努めている これら学術研究及び普及活動については、今までどおり進めながら、今後は、それらを地域のまちづくりに活かすことができる様に、住民の参画と産業界に協力を求め、産官学民労言一体となったまちづくりの実現を目指す	又、その可能性と効果 ・参画意向調査		
他地域との連携・協力、周遊の仕組みづくり	・桜井市（大神神社・三輪、初瀬、桜井駅前、多武峰等）と、ヤマト地域連携推進協議会（唐古・鍵遺跡ゾーン（田原本）・オオヤマトゾーン（天理））や、世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会、中南和広域観光協議会、大和飛鳥ニューツーリズム協会（飛鳥・藤原京ゾーン（明日香・橿原））との現状の連携・協力体制を維持し、更に周遊ルートを確立するための将来に向けた仕組みづくり	・コンサルによる類似団体の事業手法の調査と提案、 又、その可能性と効果 ・移動手段として、回遊（近隣）ならウォーキング、サイクリング、周遊（遠方）なら公共交通機関（バス等）利用の検討 ・旅行会社のツアー企画検討		

【纏向遺跡周辺地区まちづくり基本構想のための柱】

【別 紙】 6. 2 3

柱（整備及び調整）	理 由	視 点	主担当課	関係課
地元（または桜井市）にお金を落とす仕組みづくり	・纏向遺跡を訪れた方に、纏向地域以外にも桜井市の魅力を感じていただけるような場所を訪れていただき、同時に宿泊施設、食事施設、土産施設の利用をしていただき、経済的効果を見込む	・コンサルによる類似団体の事業手法の調査と提案、又、その可能性と効果 ・周遊ルートの大神神社・三輪、桜井駅、初瀬、多武峰周辺にて宿泊施設、食事施設、土産施設を連動させた仕組みの検討		